オートバイ用プロテクターを身に付け、啓発を行う様子

地域ぐるみの交通安全の取り組みに向け、呼びかけを行っていた。

関勝則の市会日記

大規模スポーツイベントについて

○健康福祉・医療委員会 委員長○観光・創造都市・国際戦略特別委員会○市会運営委員会

横浜市ではこれまでに様々なスポーツの国際大会が開催されてきました。２００２年のサッカーワールドカップをはじめ、国際陸上、世界卓球や荻村杯などで、私たち横浜市民に興奮と感動を提供してくれています。また、２０１９年に日本で開催されるラグビーのワールドカップでも、横浜が試合会場として選ばれました。去る5月16日と17日には、世界トライアスロンシリーズ第5戦となる横浜大会が山下公園周辺を舞台に行われ、市内外から多くの観戦者が訪れました。この大会は２００９年から始まり、今年で6度目の開催ということで、初夏を告げる横浜の大規模イベントのひとつとして定着しています。

横浜大会は、トップアスリート男女・一般男女・障害者・リレーで競技が行われ、２千名を超える選手が２日間にわたり熱戦を繰り広げるアジア唯一の大会となっています。

私は昨年度、市会健康づくり・スポーツ推進特別委員会で委員長を務めさせていただき、健康寿命を延ばすためには市民のみなさんが身近なところで健康づくりやスポーツに取り組めるような環境づくりが必要との調査結果をまとめ、議会に報告を致しました。お住まいの地域で気軽に身体を動かすことや趣味のスポーツを継続して行うこと、障害をお持ちの方々にもスポーツを楽しんでいただけるようなハード・ソフト両面での整備が重要です。また、小さいころから運動することに慣れることも大切で、そのための取り組みを実践している小学校へも訪問して参りました。

２０２０年には再び東京で五輪が開催されます。今のところ横浜ではサッカー競技が行われることになっていますが、トライアスロン競技も世界大会を開催している経験と実績を積極的にPRして、その誘致に向けた様々な活動を展開していく必要があります。私個人的には、横浜市綱引連盟の副会長として綱引競技の１００年ぶりの復活を目指したいとも思っています。

世界のトップ選手たちが躍動する様を直接自分の目で確かめ、肌で感じる機会をつくっていくことは、特に将来を担う子どもたちに大きな希望と勇気、そして夢を与えてくれるものと思います。私もおかれた立場から精一杯スポーツの推進に努めて参ります。

関 勝則
政務調査事務所
〒235-0036
磯子区中原2-1-20 ビラ中原1F
☎045・770・5602
FAX045・770・5603
http://seki-katsunori.asa-internet.com/

人物風土記

●５月から磯子区連合町内会長に就任した

髙田 誠さん

磯子在住　87歳

題字は林文子 横浜市長

生まれ育った街に活気を

○…区内の自治会町内会をまとめた組織「磯子区連合町内会長会」のトップに就任。磯子地区の連合会長としてこれまで区連会に携わってきたが、大役は初となる。今後の活動にプレッシャーを感じながら「できる範囲で取り組んでいければ」と抱負を語る。

○…若いころから街の行事に参加してきたことで、地域活動に携わるように。磯子浜西町内会では会計を10年、会長も20年務めてきた。「街のことっていうのは一人ではできないこと。周りのスタッフの方が支えてくれたからここまでやってこられたんだよ」と感謝の言葉を口にする。災害対策や高齢化、商店街の衰退など、地域全体の課題に目を向けながら「街のにぎわいを作るため、みんなで協力していけたらね」。優しい笑顔を浮かべて意気込む。

○…磯子出身。海苔の養殖が盛んだった様子や遊びながら泳ぎを覚えたことを振り返りながら、家の目の前に広がっていた磯子の海を懐かしむ。街のシンボルだった磯子プリンスや市電と自動車が行き交う国道16号線。活気溢れる街の様子は今も忘れない。仕事は建具職人の道を60年あまり。細かく加工した木を組み合わせ、ガラス戸や扉などに美しい組子模様を施す。難しい仕事だが、県の名工に選ばれるほどの腕前だ。誤差の許されない繊細な作業に加え「パーフェクトな出来じゃないと駄目」な職人気質。地域で行う木工細工教室も「参加者が楽しそうに取り組んでくれるから準備も頑張る」と嬉しそうに語る。

○…中学生のころからカメラが趣味。軍事教練のときでも絶えず持ち歩き、仲間の姿にレンズを向けた。今でも旅行には必ずカメラと三脚を持って出かけるが「ずっと担いでいると重たくて」と照れ笑い。撮影するのは風景が主だが仲間の集合写真も楽しむ。新会長として「人が集まって活気溢れる街になってほしいよね」。生まれ育った磯子区を活気づける日々が始まる。

弁護士・土地家屋調査士による 不動産の無料相談会

主催／宅建協会

南区・港南区・磯子区・金沢区の不動産業者で構成している公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会横浜南部支部は、年間を通じて弁護士と土地家屋調査士による不動産の無料相談会を実施している。

弁護士による相談会は「賃貸」「売買」「契約」「相続」「借地」など法律関係について答える。一方、土地家屋調査士による相談会は「登記」「境界」「測量」などの各種相談に対応する。

両相談会とも1月と8月を除き、原則として毎月第2火曜日の午後1時30分から4時30分まで実施（相談時間は1件30分）。相談希望者は要電話予約。そのほか不動産相談員による相談（予約不要）も実施中。

■横浜南部支部
港南区上大岡西1の12の2
パルポート上大岡3階
☎045・843・2103

弁護士相談 土地家屋調査士相談

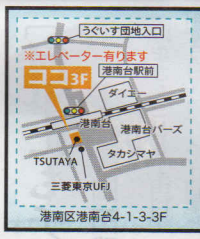
【開催予定】6月9日（火）
7月14日（火）
【開催時間】1時30分～4時30分
※どちらの相談も予約が必要です

義歯、クラウン、ブリッジ、詰め物 1日でセットまで可能

港南台駅前に開業して40年の「港南台歯科医院」では、義歯（入れ歯）やクラウン、ブリッジ、詰め物などを1日で完成させ、セットまで行える。

一般的に義歯の製作には2～3週間ほどかかるが、同院には専門の歯科技工士が常駐しているため、即日の対応が可能。使用中の義歯などが突然不具合になってしまった場合でも、その日のうちに新しいものに作り換えることができるので、心強い。ある患者の中には、海外旅行前日に義歯が不具合になり慌てたものの、同院ですぐに対応できたため、「問題なく旅行を楽しめた」というケースも。

平日は休診日がなく、土曜も午後8時まで診察（※患者の都合に合わせ8時以降も延長可能）。週末忙しい人や仕事帰りの通院にも適しているのでは。駅徒歩1分でアクセスも良好だ。



港南台歯科医院
◆診療時間〈月曜～土曜〉
10:00～13:30/
15:00～20:00
※(但し患者様のご都合により20時以降まで延長可)
◆休診日 日曜・祝日
☎045・831・6300
港南区港南台4-1-3-3F

浦屏風ヶ地域ケアプラザ 横浜産野菜でピザ作り

子育て主婦向け料理教室

ピザ生地に横浜産キャベツなどを乗せる参加者

子育て中の主婦にも料理を楽しんでもらおうと、屏風ヶ浦地域ケアプラザで5月21日、保育付きの料理教室が開かれた。同施設が今年度から新たに企画した事業で、今回は4回講座の1回目。主婦6人が参加した。

講師を務めたのは、シニア野菜ソムリエ&食育マイスターの高崎順子さん。地産地消もテーマの一つになっていることから、野菜は主に横浜産が用意された。

参加者は横浜産の春キャベツをふんだんに使用したピザ、新玉ネギやニンジンたっぷりのミネストローネスープ、いちごの白玉作りなどを楽しんだ。

汐見台から参加した主婦は「思ったよりもピザが簡単に作れると知って驚いた。家でも試してみたいです」と話した。

相続・遺言の無料相談会

磯子公会堂で6月7、14日

高田所長が親身に相談に応じる

行政書士高田吉衛事務所は6月7日、14日に磯子公会堂3階会議室1（JR磯子駅徒歩5分）で相続や遺言に関する無料相談会を開催する。

「夫の財産は確実に妻に相続されるの」といった相続に関する疑問や遺言書の書き方など、地元で継続して相談会を開く高田所長と、協力事務所の書士らが親身に相談に応じる。

時間は午後1時20分～5時まで（4時半受付終了）。希望者は電話予約を。

■行政書士高田吉衛事務所
磯子区岡村1の27の3
☎045・758・2080

KIMONO総合
インストラクター養成講座
無料説明会
6月5日(金)・6月8日(月)
10:30～/14:00～/18:30～
※電話またはメールでお申し込みください
内閣府移行認可
一般財団法人 民族衣裳文化普及協会
お問い合わせ・資料請求 0120-029315
http://www.wagokoro.com
info@wagokoro.com
【横浜教室】横浜市中区常盤町5-69-2 ST馬車道ビル4F

防災コラム “いざ”に備えて 自助 共助

2－⑪ 災害時の情報伝達

災害時の全ての行動は情報から始まります。○○で火災が発生したとか、どこの誰が大怪我などの情報があれば適切な行動がとれますが、情報がなく無暗な行動は効果的ではありません。家族が生き延びるための情報としては、ここは大丈夫か逃げなければならないか、どこへ逃げれば良いか、などの判断すべき情報が必要です。地域で2次被害を防ぐための共助に必要な情報として被害の状況、その情報に基づく共助活動のための情報伝達が必要です。発災直後は近隣地域の助け合いが決め手です。その時点では緊迫した重要な情報伝達がありますが遠距離の情報伝達は殆どありません。時間経過と共に徐々に他の地域との連携や行政へ依頼の連絡も始まり情報伝達の距離が延びてきます。さらに時間が経過すると生活用品の要望や遠くの親戚等に安否を知らせるなどが始まります。このように災害時の情報伝達は、緊迫した重要な段階は伝達距離が短く、時間経過と共に情報の緊迫性・重要性は減少するものの伝達距離は延びてきます。さて皆様の地域では発災直後の電話ケータイの使えない時点の情報伝達手段を準備されていますか？

著者紹介：防災を考える会・磯子

「防災を考える会・磯子」は、迫り来る大災害での防災・減災を目指し、家庭や地域の防災力向上の研究を重ね、その成果の発信や講演などを行っているボランティア団体です。

相続と不動産の悩み解消

専門家がセミナーと無料相談会

相続・不動産・生命保険の問題は身近で深刻だが、誰に相談したらよいか難しいもの。「円満相続対策セミナー」と「相続・不動産・生命保険の無料相談会」が6月7日(日)に横浜市技能文化会館7階701会議室（中区万代町2の4の7）で開かれる。極めて専門性の高い（公認）不動産マスターやファイナンシャルプランナーらが無料で相談に応じる。

相談内容は、円満な相続対策や不動産を使った相続対策。借地・借家の権利調整、不動産の購入・売却・有効活用、保険の見直しや老後資金対策など相続・不動産・生命保険に関する全ての相談ができる。主催のNPO法人日本FP普及協議会では「多くの増税が予想される今、ご自分の相続・不動産・生命保険を考えてみませんか」と話す。

セミナー＝午前9時半～11時半、相談会＝午後1時～8時。会場はJR関内駅から徒歩5分、または地下鉄伊勢佐木長者町駅から徒歩3分。参加費無料。定員各12人で予約制。

申し込みは同協議会受付係☎045・548・5300。

昨年の「ビームスペクタクル」

横浜港の誕生祝う

30・31日、6月2日

恒例の「横浜開港祭」が5月30日、31日、6月2日の3日間、西区の臨港パークを中心に横浜港を臨むエリアで行われる。

例年80万人もの動員があると言われる日本最大級の「市民祭」。今年の目玉は、例年人気の光と音と花火による「ビームスペクタクル」。恒例の「横浜開港祭」が5月30日、31日、6月2日の3日間、西区の臨港パークを中心に横浜港を臨むエリアで行われる。

例年80万人もの動員があると言われる日本最大級の「市民祭」。今年の目玉は、例年人気の光と音と花火による「ビームスペクタクル」。

新企画としては、ロボット未来パークや市内を中心とした小中高校生ダンサーによるコンテストも。その他、飲食など多彩なコンテンツが盛りだくさん。

詳細は開港祭のホームページ。URL http://www.kaikosai.com/